



いすぐみだより

2021年度 11月号

社会福祉法人尚徳福社会 生麦保育園

季節がガラッと変わり涼しくなりました。急に涼しくなったので、鼻水、咳が出だしたり、発熱したりと体調を崩す子が多く見られます。小さな子どもの体調は変わりやすく突然高熱が出ることもありますので、発熱していなくても機嫌が悪い時、鼻水が多く出ている時などは無理に登園せずご家庭でゆっくり過ごして頂くと、早くに元気になってたくさん遊べると思います。これからどんどん寒くなりますので、元気に寒い季節を乗り切りたいですね！



外あそび大好き！！



園庭には金木犀が咲いていて、木の周りを歩いて香りを楽しんだり、花びらを拾い集めて楽しんでいきます。また、公園に行くと走って遊ぶよりも、どんぐりの木の下に行ってどんぐり拾い。手の平いっぱい集め、帽子を被ったどんぐりを見つけると「先生見てー！」と満面の笑みと共に見せてくれます。四季の中で他の季節に比べて短い秋ですが、視覚でも味覚でも楽しめる季節なので、子どもたちが秋に気づいてより楽しめるように一緒に過ごしていきたいです。

また、最近『かくれんぼ』や『むっくりくまさん』など簡単なルールのある遊びを友だちや保育者と一緒に楽しんでいます。園庭に行くと誰かが必ず「先生！むっくりくまさんやりたい！」と言いにきます。中央にくま役の子がしゃがみ、みんなで手を繋いでくまさんの周りを「むっくりくまさん♪むっくりくまさん♪」と回って歌います。歌が終わるとくまさんが友だちを捕まえに行くので周りの子は逃げますが、くまさん役の子だけでなく何人もが走って追いかけてしまい、ルールを覚えながら楽しんでいるところです。りす組になってからの半年で遊びの幅も広がってきたので、これからも色々な遊びを一緒に楽しんでいきたいです。



★幼児クラスの運動会遊びを見て★

10月は幼児クラスのお兄さんお姉さんが園庭で運動会の練習をしていることが多く、練習が始まるとりす組の子どもたちも座って見学し始め「がーんばれ！」と応援したり、体操や踊りを一緒に楽しんでいました。中でも人気だったのが、うさぎ組（3歳児）が踊っていた『にんにん忍者』です。お遊戯が始まると一緒に立って忍者に変身！数回見ただけですがよく覚えていて、忍者ポーズも完璧！クラスで移動するときに「忍者に変身！」と声を掛けると忍者ポーズで足音を立てずに静かに歩いていて、とっても可愛いです。また、練習後に残っているトラックを使ってひたすら走る走る！

涼くなった夕方でも汗びしょりです。



10月はハロウィンの踊りや制作を楽しみました。ハロウィンの音楽が大好きなりす組の子どもたち。音楽が流れると自然と保育者の元に集まり、「かぼちゃ！チャチャチャ！」とお尻をフリフリ張り切って踊っています。

制作は、指で絵の具を塗るフィンガーペインティングを行い、千代紙を自分でちぎり、のりを塗って貼りました。のりの量を調節するのは難しく、指1本を使って少しずつ伸ばして塗る子もいれば、手がのりだらけになってしまう子もいましたが、ほとんどの子が夢中になって取り組み、楽しんでいました。これから幼児クラスへの進級に向けて、様々なことに挑戦していきたいと思います。

